

「生活感と高齢者虐待に関する調査」(平成 23～24 年)

石塚 優

平成 23～24 年度の地域づくりに関する調査研究では北九州市に居住する人を対象とした「生活感と高齢者虐待に関する調査」に基づいて地域研究を進めている。

3 月現在調査票を用いた調査を実施中であり、以下のような観点からこの調査を進めている。

北九州市は高齢化率が政令市の中では最も高く、人口も社会減、自然減が重なり減少が続いている。15 歳未満の若年人口と生産年齢人口は減少を続け、労働力人口は高齢化している。このような現状の北九州市民の生活感に関する調査は、生活満足度・充足度として指標化できるような資料を継続して蓄積することを目的とする基礎資料と位置づけることができる。一方で、生活の不安要素である健康・経済・社会関係には、高齢化と関連が深い健康面に係わる認知症や社会関係としての高齢者虐待の問題がある。そこで、今回の調査では、生活感と高齢者虐待を取り上げ調査することにした。今後、これらのテーマで地域研究を進める予定であるが、生活者としての生活感と生活の不安要素としての認知症や高齢者虐待を、どのように健康面・社会関係面(地域での見守りの充実や近所の人との付き合いの親密さ・信頼関係などを地域の健康度や社会関係面との関連として捉えるとしても)の指標に結びつけるのかは今後の検討事項である。

この調査は GDP を指標とした豊かさや社会資本の豊かさのような、生活の満足感・充足感を捉えるのではない。前者は一般に生活者の生活の充実度や満足度を示していないし、後者の流動的に変化する人口を単位とした社会資本の充実度などは、人口減少が見かけ上有利に働いたりもする。また、利用率や集客率を無視しては人口に対しての社会資本の有無のみを示すだけである。

社会関係資本という指標もあるが、定義が多様であることや、国民性などにより単純に当てはめることはできない面がある。生活の満足度・充足度の視点から生活の基本的要素を見た場合に「住む」「働く」「楽しむ」などが指標として考えられる(経済企画庁「新国民生活指標生活(豊かさ指標)」の当初の項目でその後増加する)が、年代や性別、就業条件や世帯構成、ライフステージなどにより生活感は異なると推測できるのため、年代や性別により検討する必要もある。

これらを考慮しつつ「生活感と高齢者虐待に関するアンケート」を健康的側面と社会関係的側面に視点を置いて分析する予定である。

この調査期間は 2012 年 3 月 12 日～26 日。対象は 2011 年 12 月の時点で北九州市に居住する 20～79 歳の 1,500 人。対象の選び方は選挙人名簿から所定の手続きを経て無作為抽出による。実施は配達により送付し、回答後郵送により返送する方法による。

調査票は以下に掲載した。

上記では生活満足度・充足度に触れたが、この調査の結果は世代別の生活感や属性別の生活感を、他の政令市との比較も行いながら、健康的側面と社会関係的側面に重点を置いて検討する。健康的側面と社会関係的側面ともに、質問は不十分で、この結果に基づく更なる資料の収集が必要であるが、高齢者の健康度や市民の地域での社会関係の豊かさなどの側面の指標に結びけたいと考える。

生活感と高齢者虐待に関するアンケート

生活感と高齢者虐待に関するアンケートのお願い

北九州市立大学都市政策研究所では、現在、北九州地域研究の一環として生活感と高齢者虐待に関する調査研究を進めています。平成 21 と 22 年度は地域資料と公民協働をテーマとして調査を実施し、報告書「地域づくりに関する調査研究」（北九州市立大学都市政策研究所、平成 22 年、23 年 3 月）にまとめました。

現在、北九州市の生活感と平成 18 年に法律が施行された高齢者虐待に対する態度について調査研究を進めています。そのため、北九州市にお住まいの皆様、北九州市の生活感や高齢者虐待に関する意識についてアンケートをお願いいたしました。

なお、このアンケートは、平成 24 年 2 月現在の選挙人名簿から所定の手続きを経て、無作為に 1,500 人を選ばせていただき実施しております。結果は統計的に集計し、処理いたしますので、個人に関わる情報が使用されることはありません。

大変お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、上記の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 24 年 3 月
北九州市立大学都市政策研究所

回答に関するお願い

- 1 あて名のご本人がお答えください。ご本人が医療機関等に入院されている場合などは、回答していただく必要はありません。
- 2 ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人からお聞きして代理で記入をお願いします。
- 3 ご回答は、当てはまる番号を○で囲む他に数字を記入するなどしてください。
- 4 **問 15 の副問**には該当する方のみお答えください。
- 5 氏名は記入していただく必要はありません。
- 6 結果は統計的に処理いたします。アンケートの過程や報告書としてまとめた結果の公表にあたり、個人にご迷惑をおかけするようなことは一切ございませんので、思いのままお答えください。
- 7 記入いただいた調査票は、**3月26日(月)まで**に同封の封筒に入れて投函してください（切手を貼ったり、差出人の名前を書いたりする必要はありません。）。

アンケートに関するお問合せ先

北九州市立大学都市政策研究所 「生活感と高齢者虐待に関するアンケート」係
〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号 電話：093-964-4302(代表)

基本的な事項と生活感についてお聞きします

問1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性

2. 女性

問2 あなたの年齢についてお答えください。

1. 20～24歳

5. 40～44歳

9. 60～64歳

2. 25～29歳

6. 45～49歳

10. 65～69歳

3. 30～34歳

7. 50～54歳

11. 70～74歳

4. 35～39歳

8. 55～59歳

12. 75歳以上

問3 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。

1. ひとり暮らし

4. 子世代との二世世代家族

2. 夫婦のみ

5. 親・子・孫・その他の親族の三世世代家族

3. 親世代との二世世代家族

6. その他 ()

問4 あなたは結婚していらっしゃいますか。

1. 未婚

2. 既婚 (現在、夫または妻がいる)

3. 既婚 (配偶者と離別または死別)

問5 あなたの現在のお住まいについてお答えください。

1. 一戸建て (借家)

6. 勤め先の寮や職員住宅

2. 一戸建て (持ち家)

7. その他 ()

3. アパート、マンションなどの共同住宅 (持ち家)

4. アパート、マンションなどの共同住宅 (借家)

5. 公営の借家 (公団住宅、市営住宅など)

問6 市内に住み続けている年数についてお答えください。

1. 1年未満

3. 5～9年

5. 生まれてからずっと

2. 1～4年

4. 10年以上

問7 あなたの親しい友人の人数を教えてください。小学校区内外に各一つだけ○をつけてください。

①同じ小学校区内に住んでいる人

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. 0人 | 3. 6～10人 | 5. 16人以上 |
| 2. 1～5人 | 4. 11～15人 | |

②同じ小学校区以外の所に住んでいる人

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. 0人 | 3. 6～10人 | 5. 16人以上 |
| 2. 1～5人 | 4. 11～15人 | |

問8 現在の、あなたの職種は、次のどれにあたりますか。

1. 販売従事者（小売店主、デパート・専門店・スーパー等、営業など）
2. 事務系従事者（一般事務、外勤事務）
3. 技術・技能系従事者（製造、加工、組立、建設、電気工など）
4. 通信系技術者（パソコンネットワーク設定、プログラミング・情報処理など）
5. サービス系従事者（美容師、調理師、ホテル業、飲食店など）
6. 運輸・配送従事者（配送運転手・助手、荷役などの作業など）
7. 福祉系従事者（社会福祉協議会、福祉施設、介護支援専門員、介護職など）
8. 公務員
9. 事務系専門職（医療事務、オペレーターなど）
10. 医療系専門職（医師、薬剤師、保健師、看護師など）
11. その他の専門職（弁護士、教員、社会福祉士、介護福祉師等福祉系専門職など）
12. 無職
13. 家事専業（無職の）
14. その他（ ）

問9 差し支えなければ勤務形態をお聞かせください。

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 1. 自営・会社経営 | 5. パート・アルバイトなど | 9. その他（ ） |
| 2. 家族従業者 | 6. 嘱託など | 10. 仕事をしていない |
| 3. 正社員・正規職員 | 7. 臨時・日雇いなど | |
| 4. 派遣社員・契約社員 | 8. 内職 | |

問10 通勤時間はどれくらいですか。

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------|
| 1. 30分未満 | 3. 1時間～1時間30分未満 | 5. 2時間以上 |
| 2. 30分～1時間未満 | 4. 1時間30分～2時間未満 | 6. 通勤はしていない |

問 11 勤務年数はどれくらいですか。

- | | | | |
|-------------|---------|-----------|----------|
| 1. 仕事をしていない | 3. 1～4年 | 5. 10～14年 | 7. 20年以上 |
| 2. 1年未満 | 4. 5～9年 | 6. 15～19年 | |

問 12 あなたは現在、下の 1～10 のどの立場にあたりますか。

1. 学生（高校、予備校、専門学校、短大、大学、大学院など）
2. 学校卒業後に就職、習い事、家事手伝いをしている 40 歳未満の独身
3. 40 歳以上 60 歳未満の独身
4. 60 歳以上の独身（配偶者との離別・死別を含む）
5. 子どものいない夫婦
6. 第一子が小学入学前の親
7. 第一子が小学・中学生の親
8. 第一子が高校・大学・大学院生の親
9. 就職や結婚をした子どもが一人以上いる親
10. すべての子どもが就職や結婚をした親
11. その他（ ）

問 13 身近に高齢者はいらっしゃいますか。

1. 高齢者と同居している
2. 同居していないが行き来の多い家族に高齢者がいる
3. 仕事の関係（ケアマネジャーや高齢者福祉施設の職員等）で高齢者と接する機会が多い
4. 仕事の関係（医療・保健関係の仕事）で高齢者と接する機会が多い
5. 仕事の関係（医療・保健・福祉以外の仕事）で高齢者と接する機会が多い
6. 町内会・自治会活動で高齢者と接する機会が多い
7. 近所の高齢者と親しい
8. 高齢者と接する機会ほとんどない
9. その他（ ）

問 14 現在、生活全般に満足していますか。

- | | | |
|-------------------|------------------|----------|
| 1. 満足している | 3. どちらともいえない | 5. 不満である |
| 2. どちらかといえば満足している | 4. どちらかといえば不満である | |

問 15 現在お住まいの地域に今後もずっと住みたいと思いますか。

1. 住みたい → 副問 1 へ進んで下さい
2. 北九州市内の別の地域に住みたい → 副問 2 へ進んで下さい
3. 北九州市以外の別の地域に住みたい → 副問 3 へ進んで下さい
4. わからない → 問 16 へ進んで下さい

副問 1 (問 15 で今後も住みたいと回答した人へ) その理由を以下から一つだけ選んでください。

1. 親元・出身地だから
2. 配偶者の親元・出身地だから
3. 土地や家屋があるから
4. 長年住みなれたところだから
5. 生活環境が気に入っているから
6. 他の地域や都市に魅力を感じないから
7. その他 ()

副問 2 (問 15 で北九州市内の別の地域に住みたいと回答した人へ) その理由を以下から一つだけ選んでください。

1. 親元・出身地の近く
2. 配偶者の親元・出身地の近く
3. 土地や家屋があるから
4. 市内の他の地域に魅力を感じるから
5. 通勤・通学、仕事などに便利だから
6. 生活に便利だから
7. その他 ()

副問 3 (問 15 で北九州市以外の別の地域に住みたいと回答した人へ) 住みたい場所はどこですか。

1. 東京・大阪・名古屋等大都市圏
2. 福岡市
3. 北九州市・福岡市以外の政令市
4. その他の県庁所在地
5. その他の中小地方都市
6. その他の郡部
7. 親元や出身地
8. その他 ()

問 16 最後に卒業した学校は次の中のどれにあたりますか。

1. 中学校 (尋常小学校、高等小学校などを含む)
2. 高等学校 (旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校、旧制高専などを含む)
3. 各種専門学校
4. 大学 (短期大学、高専、大学院、旧制高校などを含む)
5. その他 ()

問 17 一般的に他都市と比較して、北九州市はどのように思いますか。次の①～⑳について「そう思う」から「そう思わない」までの該当する番号に○をつけて下さい。	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	ややそう思わない	そう思わない
①若者が多く活気がある	1	2	3	4	5
②古いしきたりが少ない	1	2	3	4	5
③北九州市に住んでいることを自慢できる	1	2	3	4	5
④交通機関が便利	1	2	3	4	5
⑤国際都市である	1	2	3	4	5
⑥娯楽が多い	1	2	3	4	5
⑦きれいな街や公園など心が休まる場がある	1	2	3	4	5
⑧したいと思う仕事がある	1	2	3	4	5
⑨教養を高め文化に接する機会が多い	1	2	3	4	5
⑩人情味がある	1	2	3	4	5
⑪子どもの教育環境がよい	1	2	3	4	5
⑫人と知り合う機会、活動の場が多い	1	2	3	4	5
⑬きれいな男女が多い	1	2	3	4	5
⑭買物をする際、多様な商品があり、楽しめる	1	2	3	4	5
⑮多様な情報が容易に手に入る	1	2	3	4	5
⑯食べ物がおいしい	1	2	3	4	5
⑰異性と知り合う機会が多い	1	2	3	4	5
⑱芸術・文化施設が多い	1	2	3	4	5
⑲行政機関がよくやっている	1	2	3	4	5
⑳多様な飲食店がある	1	2	3	4	5
㉑医療施設が整っている	1	2	3	4	5

問 18 北九州市が住みにくいと思う点を3つ選んで下さい。

- | | | |
|------------------|------------|-------------|
| 1. 通勤・通学時間が長い | 6. 騒音が激しい | 11. 家賃が高い |
| 2. 労働時間が長い | 7. 活気がない | 12. その他 () |
| 3. どこへいっても混雑している | 8. 人間関係が希薄 | 13. 特にない |
| 4. 子どもの教育環境が悪い | 9. 物価が高い | |
| 5. 自然が少ない | 10. 家が狭い | |

高齢者虐待についてお聞きします

問 19 次の①～⑳の行為について、あなたの考えに一番近いものを選んで1～5のいずれかに○をつけてください。1～5の数字は、1は虐待ではない。2より3、3より4と虐待の程度が強くなり、5が最も虐待の程度が強いことを表します。

	高齢者に対しての行為	虐待の程度 虐待ではない ⇄ 虐待				
①	言うことを聞かないので、叩いている。	1	2	3	4	5
②	良いことと悪いことを分かってもらうため、叩いている。	1	2	3	4	5
③	食事をとるのが遅いので、無理やり食事を口に入れる。	1	2	3	4	5
④	認知症で徘徊するので、ベッドに縛り付けている。	1	2	3	4	5
⑤	認知症で徘徊するので、部屋に閉じ込めている。	1	2	3	4	5
⑥	水分や食事を十分に与えない。	1	2	3	4	5
⑦	意図的に薬を過剰に与える。	1	2	3	4	5
⑧	異臭がするまで放置し、入浴させない。	1	2	3	4	5
⑨	髪やひげが伸び放題である。	1	2	3	4	5
⑩	室内におむつなどゴミを放置したまま生活させている。	1	2	3	4	5
⑪	認知症なので、外出させない。	1	2	3	4	5
⑫	必要な医療・介護サービスを制限したり、受けさせていない。	1	2	3	4	5
⑬	経済的に苦しいので、病院に連れて行くことを控えている。	1	2	3	4	5
⑭	排泄の失敗をあざ笑ったり、人前で話す。	1	2	3	4	5
⑮	侮辱を込めて、子どものように扱う。	1	2	3	4	5
⑯	話しかけているのに、無視する。	1	2	3	4	5
⑰	認知症なので、訪ねてくる人がいても会わせない。	1	2	3	4	5
⑱	人前でおむつを替える。	1	2	3	4	5
⑲	排泄などの失敗に対して、罰としてしばらく裸にしておく。	1	2	3	4	5
⑳	嫌がっているのに、性的な行為を強要する。	1	2	3	4	5
㉑	性器へ接触する。	1	2	3	4	5
㉒	日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない。	1	2	3	4	5
㉓	無断で家を売却する。	1	2	3	4	5
㉔	年金手帳や預貯金通帳などを管理し、本人に無断で使っている。	1	2	3	4	5

問 20 次の具体的な事例 1～5 の虐待の程度と判断理由について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。1～5の数字は、1は虐待ではない。5が最も虐待の程度が強いことを表します。また、各事例の背景はいろいろ考えられると思いますが、書かれている内容からご判断して感じるままに判断理由をお答えください。また、ご意見等がございましたら [] にご記入ください。

事例 1	虐待の程度 虐待ではない ⇔ 虐待
75 歳女性。夜眠らず、外を徘徊（はいかい）するようになり、家族が眠れなくなったため、息子（52 歳）がベッドに縛りつけた。	1 2 3 4 5

【事例 1 副問】 なぜ、そう思われましたか。判断された理由をお答えください。

1. 縛りつけるのは、女性の自由を奪うことになるから
2. 家族の生活を守るためには仕方がないから
3. その他 []

事例 2	虐待の程度 虐待ではない ⇔ 虐待
81 歳女性。娘と同居であるが入院中のため、近くに住んでいる孫が世話をしている。1ヶ月間コタツに入ったままで、寝たきりの状態である。食事摂取はほとんどなく、排便・排尿もそのままである。本人は孫の入院の勧めを拒否している。	1 2 3 4 5

【事例 2 副問】 なぜ、そう思われましたか。判断された理由をお答えください。

1. 不衛生なので、排便などはきちんとさせるべきだと思うから
2. 女性本人が入院を拒否しているから
3. その他 []

事例 3	虐待の程度 虐待ではない ⇔ 虐待
94 歳男性。室内は歩行器使用で、トイレ以外は起きない。息子（69 歳）夫婦、主に息子の嫁（57 歳）の介護を受けている。「臭い、汚い、鼻がおかしくなる」「親じゃないのに何で面倒見なければならないのか」等々。本人の前で言葉にするが、身の回りのことはきちっと世話をしている。	1 2 3 4 5

【事例 3 副問】 なぜ、そう思われましたか。判断された理由をお答えください。

1. 言葉の暴力であると思うから
2. 男性は嫁から介護してもらっているのだから仕方がないと思うから
3. その他 []

問 23 高齢者のイメージに当てはまると思うものを下記より3つ選んでください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 心身が衰えて不安が大きい | 7. 収入が少ない |
| 2. 経験や知恵が豊富である | 8. 地域や社会に貢献している |
| 3. 規則正しい生活習慣である | 9. 経済的にゆとりがある |
| 4. 時間にしばられていない | 10. 社会の役に立っていない |
| 5. 保守的で頑固である | 11. 周囲と触れ合いがなく孤独である |

問 24 最も身近にいる高齢者（家族・親族・友人・知人・近所の人等を含む）との関わりについて、特に当てはまると思う番号を下記より1つ選んでください。

1. 現在高齢者と同居している・以前同居していた。
2. 度々（週に1度以上程度）行き来をしたり連絡をとっている（いた）。
3. 時々（月に1～2度程度）行き来をしたり連絡をとっている（いた）。
4. たまに（2～3ヶ月に1度程度）行き来をしたり連絡をとっている（いた）。
5. あまり（4～6ヶ月に1度程度）行き来をしたり連絡をとっていない（いなかった）。
6. ほとんど行き来をしたり連絡をとっていない（いなかった）。
7. 行き来をしたり連絡をとる高齢者がいない。
8. その他（ ）

問 25 教育機関（高校・専門学校・短期大学・大学・大学院等）で、福祉の履修（学習）経験がありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ない | 2. ある |
|-------|-------|

問 26 保健・医療・福祉関係の専門職（かつて専門職を含む）ですか。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 専門職ではない。 | 2. 保健・医療・福祉の専門職である・専門職だった。 |
|-------------|----------------------------|

問 27 周囲に虐待を受けている疑いのある高齢者がいた場合、自分の家族以外で、主にどこに相談しますか。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 町内会・自治会の役員 | 7. 民生委員 |
| 2. 社会福祉協議会の役員 | 8. 区役所の市民相談窓口 |
| 3. まちづくり協議会の役員 | 9. 警察 |
| 4. 福祉協力員 | 10. 地域包括支援センター |
| 5. 老人クラブの役員 | 11. 他の家族のことなので誰とも相談しない |
| 6. 隣近所の友人・知人 | 12. その他（ ） |

アンケートへのご協力を心から感謝いたします。ありがとうございました。